

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・言語・義肢
林 千 治		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2（4の内）	時間数	30（60の内）
【概要・一般目標：G10】 内科学（前期）で学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。					
【学習目標】 内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内科各論 1	循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）			講義（林）
2	内科各論 2	循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）			講義（林）
3	内科各論 3	循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）			講義（林）
4	内科各論 4	呼吸器疾患			講義（林）
5	内科各論 5	消化器疾患 1 消化管疾患			講義（林）
6	内科各論 6	消化器疾患 2 肝臓・胆管系、膵臓疾患			講義（林）
7	内科各論 7	腎、泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
8	内科各論 8	内分泌・代謝疾患			講義（林）
9	内科各論 9	血液疾患			講義（林）
10	老年病学 1	老化とは、老年者の疾患の特異性			講義（林）
11	老年病学 2	高齢者の循環器疾患・呼吸器疾患			講義（林）
12	老年病学 3	高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
13	老年病学 4	高齢者の免疫・感染症、血液・内分泌・代謝異常			講義（林）
14	老年病学 5	高齢者の運動器・感覚器・皮膚・精神疾患			講義（林）
15	内科・老年病学	まとめ			講義（林）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		オリジナル			
参考書		ナースの内科学（5版） 老年期医学テキスト	越川昭三（編） 日本老年医学会（編）	中外医学社 Medical view	2001・8,000円 1997・6,500円
その他の資料		プリントで配布する。			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験のみ		前期の内科学（前期）と合わせて4単位とするが、内科学Ⅰ（後期）として合格をとる必要がある。			